


月 日	陳 情 ・ 要 望 ・ 請 願 事 項 ・ 運 動 先 等																
令和元年 7 月 29 日 ( 月 )	<p data-bbox="395 304 1422 338">○島民の生活や産業を支える島しょ港湾の整備促進について(東京都島嶼町村会)</p> <p data-bbox="395 450 820 528">1 要望先 高田昌行国土交通省港湾局長</p> <p data-bbox="395 595 592 674">2 要望書 別紙のとおり</p> <p data-bbox="395 741 671 819">3 要望者 東京都島嶼町村会</p> <p data-bbox="395 887 868 965">4 同行議員 東京都議会自由民主党 三宅正彦</p> <p data-bbox="395 1032 852 1447">5 同行者</p> <table data-bbox="480 1070 852 1447"> <tr> <td>大島町長</td> <td>三辻 利弘</td> </tr> <tr> <td>利島村長</td> <td>前田 福夫</td> </tr> <tr> <td>新島村長</td> <td>青沼 邦和</td> </tr> <tr> <td>神津島村長</td> <td>前田 弘</td> </tr> <tr> <td>三宅村長</td> <td>櫻田 昭正</td> </tr> <tr> <td>御蔵島村</td> <td>広瀬 久雄</td> </tr> <tr> <td>八丈町長</td> <td>山下 奉也</td> </tr> <tr> <td>青ヶ島村長</td> <td>菊池 利光</td> </tr> </table> <p data-bbox="986 1514 1326 1592" style="text-align: right;">           随行者:東京都港湾局            島嶼町村会事務局         </p> 	大島町長	三辻 利弘	利島村長	前田 福夫	新島村長	青沼 邦和	神津島村長	前田 弘	三宅村長	櫻田 昭正	御蔵島村	広瀬 久雄	八丈町長	山下 奉也	青ヶ島村長	菊池 利光
大島町長	三辻 利弘																
利島村長	前田 福夫																
新島村長	青沼 邦和																
神津島村長	前田 弘																
三宅村長	櫻田 昭正																
御蔵島村	広瀬 久雄																
八丈町長	山下 奉也																
青ヶ島村長	菊池 利光																

## 島民の生活や産業を支える島しょ港湾の整備促進について

島しょ地域の港湾は、島と本土を結ぶうえで不可欠な交通基盤であるばかりでなく、漁業、観光など島の基幹産業の振興、防災対策、地域の賑わい拠点としても非常に重要な施設となっています。

しかし、伊豆・小笠原諸島は、我が国でも特に厳しい気象海象条件のため、定期船は未だ欠航が多く、交通アクセスの利便性は、なお低い水準にあります。引き続き、定期船の就航率向上に資する防波堤や岸壁等の整備を着実に進めていく必要があります。

また、南海トラフ等の巨大地震による被害想定では、伊豆・小笠原諸島に、非常に高い津波が襲来し、甚大な被害が発生すると予測されていることから、大規模災害に対応する港湾の防災力強化は、極めて重要です。しかしながら現状では、発災時、島外への確実な避難や救援活動の拠点となる港湾・漁港の防災機能の拡充や津波避難施設の整備など、早急に対策が必要な事業が残されています。

さらに、島しょにおける観光客は、ピーク時の3割程度に留まり、長期に渡り低迷している中、自立的な発展を遂げていくためには、島の玄関口である「みなと」を観光や賑わいづくりの拠点として、島全体の活性化に繋げていく「みなとまちづくり」を進めていくことが必要です。

これらの課題に対処するため、国土交通省におかれましては、これまでも伊豆・小笠原諸島の港湾、海岸整備に一方ならぬご尽力を頂いてきたところです。今後も継続して、着実に進めることが不可欠であるとともに、島しょが、我が国の排他的経済水域の保全、海洋資源の利用、自然環境保全等に重要な役割を担っていることに鑑みれば、港湾整備は、国家的な意義があり、国費を重点的に投入していくべきと考えます。

今後とも、伊豆・小笠原諸島の港湾整備をより一層促進して頂きたい、以下のとおり要望します。

- 1 島民生活や産業を支えるために不可欠な岸壁、防波堤等、補助対象となる基幹的施設については、今後も整備が着実に継続できるよう、必要な財源を確保すること。
- 2 交付金により整備中の施設は、未だ就航率の低い港の防波堤や岸壁等、生活に密接に関連するものが多く、地元の要望も多いため、事業が中断されることなく確実に実施できるよう、必要な財源を十分確保すること。
- 3 津波避難施設や被災時の復旧活動を支える緊急輸送用岸壁等について、今後も整備が着実に継続できるよう、必要な財源を確保すること。
- 4 火山噴火時の円滑な避難に備えるため、噴火避難用岸壁の静穏度向上に必要な防波堤の整備が着実に継続できるよう、必要な財源を確保すること。
- 5 台風の襲来や低気圧の通過に伴う高潮などから、島民の生命と財産を守るため、海岸保全施設の整備に必要な財源を確保すること。